

日本原子力学会 標準委員会 基盤応用・廃炉技術専門部会
第92回廃止措置分科会（R3SC） 議事録

1. 日時 2024年1月23日（火） 15:00-17:00
2. 場所：Web会議（Webex）
3. 出席者：岡本主査、目黒副主査、杉山幹事、青井、石原、工藤、黒川、小山、鈴木、高橋、田村、鳥居、仲田、西村、平井、中野（富士電機 見上委員 代理出席）、山本
委任：田中（岡本主査に委任）
欠席：佐藤
以上、敬称略

4. 配布資料

- ①R3SC-92-1 人事案件
- ②R3SC-92-2 第91回廃止措置分科会議事録（案）
- ③R3SC-92-3-1(1) 耐震安全技術レポート付録A(案)コメント対応表
- ④R3SC-92-3-1(2) 耐震安全技術レポート付録A(案)コメント反映版
- ⑤R3SC-92-3-2(1) 耐震安全技術レポート付録B(案)コメント対応表
- ⑥R3SC-92-3-2(2) 耐震安全技術レポート付録B(案)コメント反映版
- ⑦R3SC-92-3-3(1) 耐震安全技術レポート付録C(案)コメント対応表
- ⑧R3SC-92-3-3(2) 耐震安全技術レポート付録C(案)コメント反映版
- ⑨R3SC-92-3-4(1) 耐震安全技術レポート付録D(案)コメント対応表
- ⑩R3SC-92-3-4(2) 耐震安全技術レポート付録D(案)コメント反映版
- ⑪R3SC-92-3-5 耐震安全技術レポート付録D'（案）
- ⑫R3SC-92-3-6 耐震安全技術レポート付録E(案)コメント対応表
- ⑬R3SC-92-3-7(1) 耐震安全技術レポート付録F(案)コメント対応表
- ⑭R3SC-92-3-7(2) 耐震安全技術レポート付録F(案)コメント反映版
- ⑮R3SC-92-3-8 耐震安全技術レポート付録G(案)コメント対応表
- ⑯R3SC-92-4 耐震安全技術レポート原子力安全検討会説明資料

5. 議事

(1) 一般事項

- ① 委任を含め18名/20名（内1名は岡本主査に委任）の出席により分科会成立を確認した。また、委員1名は業務都合のため、出席確認時には不都合であったが、

議事には参加された。

- ② 人事案件 今回はなし
- ③ 次回以降分科会は、2月27日（火） 9:30～（オンライン開催）

(2) 前回議事録確認 [R3SC-92-2]

特にコメントなし

(3) 耐震安全技術レポートについて [R3SC-92-3-1～-8]

- 担当委員より、前回募集のコメントを考慮して付録構成を見直して記載検討中であり、本日は一部の付録についての説明に留まることを説明の上、担当委員から付録A～Eの構成見直しの考え方と見直し後の構成について説明があった（R3SC-92-3-1(1)）。
- 担当の委員から、（構成見直し前）付録A～Eコメントへの対応について説明があった（R3SC-92-3-1(1)～92-3-6）。
これに対し、委員から概略評価の目的は、リスクの低いものを分別することの他に、詳細に評価しなければならないものを明確にすることがあるとしてもよいように思われるとコメントがあった。また、岡本主査から文章の書き方等を検討するようにとコメントがあった。
また、付録D' について、DOEハンドブックはプルトニウム等のデータであり、扱いが難しいところがあるが、記載することは重要と思われるので、検討をよろしくお願いと岡本主査からコメントがあった。このコメントに対し、安全評価基準の検討の際に、分科会委員からその指摘をいただいております、直接的には適用が難しいものもあるかもしれないが、適用性を検討した上で参考情報として活用することができると考えている。問題があると思われるものはコメントをお願いしたいと担当委員から発言があった。
さらに、“事故”、“事象”については”計画外事象”に統一した方がよいと委員からコメントがなされた。これに対し、担当委員から、“事象”を使っている箇所はたくさんあり、できれば“事象”としたいが再検討すると発言があった。
目黒副主査から、副主査のコメント回答については了解した。付録構成の見直し後に詳細を再度確認することとしたいと伝えられた。
以上について、担当の委員から、2月の専門部会で報告を予定していたが、付録構成を見直し検討中であり、5月の専門部会で説明することとしたい。次回分科会で見直し版を提示し、それに対して意見をいただきたい、また、次回分科会は2月末でお願いしたいと発言があった。
- 担当の委員から、（構成見直し前）付録F及びGコメントへの対応について説明があった（R3SC-92-3-7(1)～92-3-8）。
- 岡本主査から、次回の分科会は2/27amとする。その時に書面投票を行って1ヶ月の意見募集を行う。5月の専門部会では本報告としたいと伝えられた。

(4) 安全検討会への耐震安全技術レポート案の説明資料について [R3SC-92-4]

- 担当の委員から、安全検討会（1月30日開催）向け資料について説明があった。これに対し、岡本主査から、課題の記載は理解できない。グレーデッドアプローチの考え方に基づけば、運転中の安全重要度を適用できないのは大前提である。フリーケンシーコンシークエンスの考え方を念頭に記載を見直すようにコメントがあった。さらに、委員から、技術レポートを検討中の段階であるので、課題ではなく、予定を示してはどうかとコメントがあった。また、岡本主査から、「耐震安全の考え方：2013」の改定を行うこと、5月の専門部会への報告を予定していることを記載することを伝えられた。以上について、1月30日の前に、高田先生に事前説明を予定していると担当委員から伝えられた。

以上